

ふくしの森ステーション ひがしあがの だより



所在地：虎秀14-5（東吾野地区行政センター内）

電話：070-7792-2436

FAX：050-3156-2236

メール：station-higasiagano@hannosyakyu.or.jp

開所日：原則、火～金（祝日は除く）

時間：9:15～16:15

ふだんのくらしのしあわせ を感じられる地域を目指して

「人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる地域」を目指して、市民・社協・市が協働して進めていく計画が「はんのうふくしの森プラン」です。

令和6年度から新たにスタートした第4次プランからは「ふくしの森・東吾野」とともに右記のスローガンの実現を目指し取り組んでいきます。

心が「ほっこり」する東吾野の実現に向けて、この記事をご覧いただいた「あなた」の参加をお待ちしています！

※「はんのうふくしの森プラン」について、詳しくは裏面の記事をご覧ください。

幅広い世代が
「ほっこり」する
未来に向けて

取組目標 1 移動販売の継続

- ①実施方法の見直し
- ②販売員の増加

取組目標 2 生活支援活動の見直し

- ①生活支援協力員と方針検討
- ②生活支援協力員との意見交換

取組目標 3 イベントの開催

- ①（東吾野全体で）交流を図るイベントの実施
- ②（地区ごとに）地域交流イベントの実施

取組目標 4 団体のネットワーク化

- ①自治会連合会東吾野支部との連携
- ②東吾野地区民生委員児童委員協議会との連携
- ③その他の東吾野地区内で活動する団体との連携

取組目標 5 特産品の製造、販売

- ①販売ルートの拡充

温かいご協力をありがとうございます♪

わせがく夢育高等学校飯能本校の皆さんから赤い羽根共同募金を、奥武蔵創造学園（奥武蔵小学校、中学校）の皆さんから令和6年能登半島地震災害義援金をお預かりしました！

それぞれの学校で、校内放送を活用する、オリジナルのポスターを作成するなどして児童、生徒へ呼びかけ。

「募金に協力してくれる生徒がいることに嬉しくなった」と、まさに「ささえあいの心」を育む取組をしていただきました☆



埼玉県共同募金会飯能市支会（飯能市社会福祉協議会）では、赤い羽根共同募金運動に加え、災害発生時には災害義援金も受け付けております。ご協力いただける方はぜひ「ふくしの森ステーションひがしあがの」までご連絡ください。

「第4次はんのうふくしの森プラン」

がスタートしました！〈令和6年度～令和11年度〉

【第4次プランの概要】

〈基本目標〉

【交】交流が生まれる機会と
外出しやすい環境をつくろう

【支】支え合いの仕組みをつくろう

【安】安心して暮らせる
仕組をみつくろう

〈社協の重点取組〉

- ・相談支援体制の充実
- ・多様な地域づくりの推進

第3次プランの成果（一例）

ふくしの森リーダーが誕生！

新たに地域活動を立ち上げ・既存活動の後継者になるなど、地域活動の中心となっていく「ふくしの森リーダー」。活動していく上で必要となる“知識、体験、つながり”を得て、25名のリーダーが誕生しました。

地域の居場所が増えました！

第3次プランでは、ふれあいいきいきサロンや、こども食堂など、地域の居場所が新たに10か所立ち上がりました。また、セブン-イレブン日高下川崎店と社協の共催で移動販売をスタート。買い物支援だけでなく、地域交流の場にもなっています。

第4次プランのポイント ～どこが変わったの？～

新たに「圏域別プラン」ができました

飯能市内を13地区に分け、それぞれの地区で話し合いを行いました。各地区の強みや生活課題を踏まえ、地区ごとの活動計画を決めました。

相談支援体制の充実

「ふくしのなんでも相談員」として個別の相談に応じるとともに、地域の課題解決に向け、地域活動の活性化を図るコミュニティソーシャルワーカーの全13地区への専任配置を目指します。コミュニティソーシャルワーカーの活動拠点であり、市民にとっての身近な相談窓口である【ふくしの森ステーション】も13地区への設置を目指します。

多様な地域づくりの推進

ふくしの森リーダーの育成に取り組むとともに、住民同士が出会い、参加することのできる場や支え合う関係性を広げ、交流や活躍の場を生み出していきます。

表紙はこちら



ふくしの森プラン
QRコード

